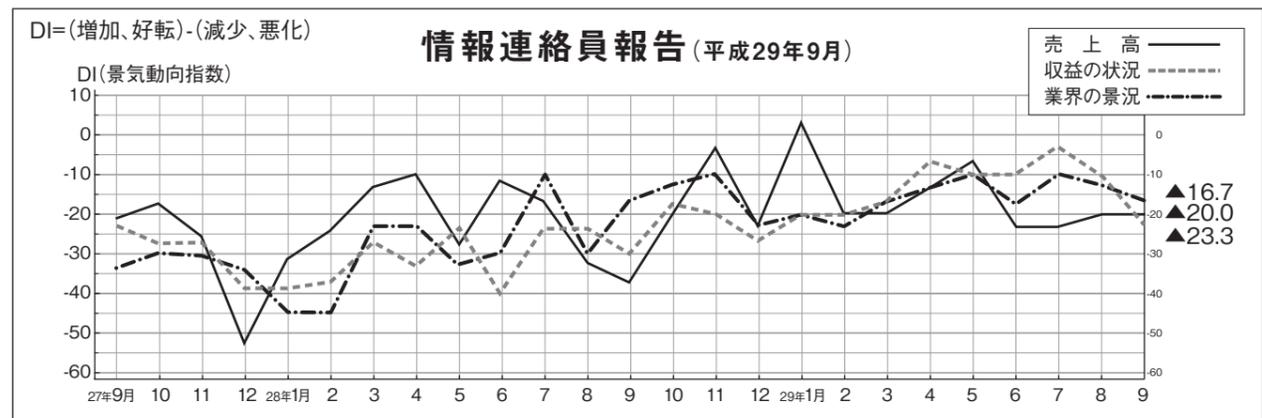


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

## 2017年9月(前年同月比)



業界の状況

☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

**食品団地**  
9月商況は平年並み。10月からの宅急便等の値上げにより県外向け小口出荷商品の値上交渉が行われるが、止むを得ないとの了解のもと新価格の形成が進んでいる。また、パートタイマーの雇用が求職者減となり雇用状況に変化が現れている。

**生コンクリート製造**  
出荷数量は前年同月比101%、出荷量の地域差が大きい。

**酒類製造**  
先月から一転し前年度に届かず。吟醸タイプは好調に増加。輸出は急成長、海外展開への努力がみられる。

**コンクリート製品**  
出荷数量は前年同月比84%。市況は減少状態が続いている。

**水産食料品製造**  
カツオの不漁は依然として続いており、必要なサイズが無いという状況。魚値も高値が続いている。みりん干業界もサンマの大不漁による高値とサイズの小型化が予想され、今年のサンマの売れ行きが懸念される。

**機械団地**  
団地内は一部業種で落ち込みが見られるが、概ね横ばいの業況である。団地内で最近の雇用情勢の影響を調査したところ「人が集まらない」「内定者の辞退」「採用者が定着しない」等の課題があり、賃金や労働条件等を見直す企業が多かった。

**木製品素材生産**  
9月は量的にはスギ、ヒノキ共に1割の減。价格的には両樹種共に横ばいであった。

**刃物製造**  
当組合の売上は前年度より上乗せはできたが、業界全体としてはまだまだ供給が遅れていると思われる。新しく問い合わせ等あるが供給ができないことがネックとなっている。

**製材**  
原木、製品の活発な動きは少ないが住宅建築の動きがあり、僅かながら需要が増加傾向にある。

**船舶製造**  
高い操業度で推移している。

**製紙**  
先月と大きな変化はないが、中国の大量購入の影響で製紙原料であるパルプ価格が大幅値上げ傾向にある。製品価格の大半を占めるパルプ価格上昇は収益に大きく影響する為、今後の製品価格への転嫁は必須となる。

**珊瑚装飾品製造**  
9月度製品会取引高は前年度同月比68%であった。特に業況は変化なし。

**印刷**  
県内需要は官公需及び民需共に減少。県外需要は業界にもよるが微減模様。9月下旬に選挙関連の特需があり辛うじて前年並みを保った。

**卸団地**  
仕入価格引上げの動きがある。引き続き採用難が続いている。県内スーパーの倒産、全国FC居酒屋の閉店等、ますます全体的に生き残りが難しくなってきた食品関係の企業は、企業としての方向性を転換する会社が目立ってきた。

**青果卸売**  
9月度の入荷状況は野菜が前年比8%増と大幅な入荷増となり、平均キロ単価が大幅に下落。果実は前年並みの入荷量と平均キロ単価を維持し、好調な月であった。

**商店街(四万十市)**  
売上等前年度とほぼ同等か少し下回ったと思われる。台風18号の影響で臨時休業や早めに閉店した店舗が多数を占め、また「よさこい四万十2017」も中止となった。月末にかけて朝晩の気温も下がり、夏場低調だった業種が今後浮上してくることに期待したい。

**生鮮魚介卸売**  
カツオ、マグロの入荷量は順調にあった。売上高の減少は組合員の減少によるものと思われる。

**旅館・ホテル**  
月初より連泊のスポーツ団体やえひめ国体高知会場での競技種目による宿泊が多く、稼働率は良かった。半ばからの台風発生によるキャンセルが相次ぎ影響が出た。

**各種小売(土佐市)**  
9月・10月と年間を通してあまりお客様が動くイメージは無く、静かな一月であった。

**飲食店**  
今年は新規開店が少ない。すべての地域で組合員減少が続いている。

**ガソリンスタンド**  
9月は原油価格が5週連続で上昇、為替レートも北朝鮮情勢により円安ドル高となり石油元売り会社は全油種3週連続の値上げになった。9月中旬以降、全国のガソリン小売価格は上昇したが本県の石油製品市況は変動なかった。

**旅行業**  
組合クーポン売上は前年同月比120%。貸切バス不足(運転手不足)で、旅行の企画が出来ないという声が出ている。国体、インバウンド、同じ曜日に集中して学校行事があることも要因の一つ。それに伴いバスの売上は増加しても旅行の売り上げには繋がらない。

**電気機械器具小売**  
9月度は全体で前年比103.8%。エアコン・冷蔵庫など白物家電が好調で、リフォーム関連(特に水回り商品)も好調。

**一般土木建築工事**  
平成29年9月分の公共土木生コン出荷量は前月比112.3%、前年同月比69.4%。平成29年4月～9月の累計は前年累計対比95.1%。防波堤、東部自動車道、幡多路の高速道路の延伸など大型工事は継続中、南海トラフ地震の耐震・防災関連工事も引き続き出ている。

**中古自動車小売**  
売上高、収益ともに減少している。

**電気工事**  
組合員施工の電力引込線関連工事量は、前年同月比95%。ほぼ全県下で減少している。

**商店街(安芸市)**  
売上増加は一時的な可能性が大きい。商店街では閉店される店が出て来つつあり、どのようにすれば良いか考えている。

**一般貨物自動車運送**  
物量は減っており、組合実績も減となった。燃料価格は9月も値上げとなり、10月以降も値上げが予想され経営を圧迫すると思われる。

**商店街(高知市)**  
中央公園地下駐車場利用状況は前年比売上73.0%、利用台数104.4%。9月30～10月1日に中心街の9会場で「高知大道芸フェス2017」が開催され、日本有数のパフォーマンスに盛り上がった。

**タクシー**  
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:102.1%、輸送回数:101.7%。当月の実働率は68.0%。

挑戦の数だけ、  
保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動